

競技注意事項

1. 開催日 令和7年7月21日（月）・23日（水） 予備日24日（木）
2. 会場 レモンガススタジアム平塚
3. 規則 2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は最初の競技開始30分前までに本部記録係へ所定の用紙で届け出る。
5. 欠場届 各種目にやむを得ず欠場する者は、できるだけ早く競技者係に欠場届を提出すること。
6. 練習
 - ・「本競技場・練習会場の使用について」に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - ・走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投の公式練習は、審判の指示に従って行うこと。
 - ・棒高跳は同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは、男子が2m80、3m50、4m00から、女子が2m00、2m50、3m00から選択する。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
7. 競技用靴について 2025年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び（国内）競技用靴に関する主要規則を適用する。
8. 招集
 - ・競技順序記載の招集時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。このとき、腰ナンバー標識を受け取り、アスリートビブスとスパイクの確認を行う。（ピンの長さは9mm以下。ただし走高跳は12mm以下）
 - ※招集所には、本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
 - ・競技中に他の出場種目と招集時間が重なる場合は、事前に招集所競技役員に申し出て、本人がコール用紙に自分で○をつける。
 - ・招集終了後、競技順序記載の集合時刻に、各種目の集合場所で最終確認を受ける。
 - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
9. リレー
 - ・オーダー用紙の提出は、競技順序に記載されている提出時間に招集所へ提出する。
 - ・競技者は、指定された場所へ集合時刻までに集合する。
 - ・リレーのユニフォームについては、同系色であれば形式は問わない。
10. アスリートビブス
 - ・胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、所属名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。
 - ・トラック種目では、主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。選手（リレーは4走のみ）は招集所で受け取り、右腰に付けておく。競技後に回収はしない。
11. スタート
 - ・1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は、各レースで2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
 - ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格（レッドカード）とする。但し、競技会からは除外しない。
12. 計測
 - ・トラック

すべての競技者のタイムを計測する。ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を超過した場合はただちに競技を終了する。

共通	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	—

- ・フィールド計測ライン及びバーの上げ方は以下の通り。ただし当日の状況により変更することがある。

	男 子	女 子
走幅跳	5m30	4m10
砲丸投	9m50	9m00
走高跳	1m60 (5cm)・1m70 (3cm)	1m35 (5cm)・1m45 (3cm)
四種高	1m45 (5cm)・1m65 (3cm)	1m20 (5cm)・1m40 (3cm)
円盤投	20m00	15m00
棒高跳	3m00 (10cm)・4m00 (5cm)	2m00 (10cm)・2m80 (5cm)

13. 予選通過及び決勝について

トラック

- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。決勝に進む人数を超えた場合は、同記録者の1 / 1 0 0 0秒を判定して決勝進出者を決定する。それでも決められない場合は1 0 0 m・2 0 0 m・4 0 0 m・ハードルは抽選とし、8 0 0 m・1 5 0 0 m・3 0 0 0 mは次のラウンドに進出できる。決勝のレーンについては、TR20. 4. 3~20. 4. 5を適用する。
- ・3年1 0 0 m・1 1 0 mH・1 0 0 mHは、予選終了後に上位2 4名を発表する。欠場する場合は、決勝の競技開始9 0分前までに欠場届を招集所へ提出する。欠場者が出た場合、予選1 7位以降の選手を繰り上げて、A決勝・B決勝進出者を発表する。その後、競技順序記載の招集時間に招集を行う。決勝進出者上位8名でA決勝を行い、1位~8位入賞者を決定する。B決勝はいかなる記録でも入賞の対象外とする。
- ・2 0 0 m・4 0 0 m・8 0 0 mは、予選終了後に上位1 6名を発表する。欠場する場合は、決勝の競技開始9 0分前までに欠場届を招集所へ提出する。欠場者が出た場合、予選9位以降の選手を繰り上げて、決勝進出者8名を発表して決勝を行う。

フィールド

- ・走幅跳・砲丸投・円盤投は3回の試技でTop8を選出し、その後3回の試技を行う。
- ・走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。

14. 表 彰

- ・表彰式を行う。各種目とも8位までに賞状を授与する。

15. 開・閉会式

- ・開・閉会式は通告と選手宣誓のみ行う。開式通告は7月21日(月) 8:45より行う。

16. コーチングエリアの使用方法

- ・直接声かけ等をする時間のみにとどめ、長時間コーチングエリアにとどまらない。
- ・コーチングエリアでの写真・ビデオ撮影等は認めない。選手はコーチングを受ける際、競技運営や安全上に問題がないように気をつけ、審判員の指示に従うこと。
- ・コーチングエリア前に、ウォーミングアップエリアがある場合、選手はその手前で指示を受けること。
- ・役員に断りなく競技場所を離れてコーチングエリアに移動した場合、警告の対象となる。
- ・スタンドの上下にコーチングエリアを設置している場合、スタンド下のコーチングエリアの使用は、競技時間中に競技役員を行っている審判が、一時競技役員を離れコーチングする場合のみ使用を認める。
- ・競技者に対する助力については、競技規則 TR6.4 を適用する。ただし、走幅跳の選手にタブレット等の録画再生機器を渡すことは、安全上、禁止とする。なお、映像等を見せる場合は、紐でぶら下げたり、身を乗り出したりするなどの危険な行為はしないこと。

17. 全般に渡る注意点

- ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
- ・メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。
- ・招集後は荷物をビニール袋に入れ、所定の場所に置く。ビニール袋に所属番号を書くこと。
- ・投てき器具は、競技場備え付けのものを使用する。

18. その他

競技場の利用のしかた

- ・「大会申し合わせ事項」参照。

